

HiBy R8AL / R8SS

USER MANUAL

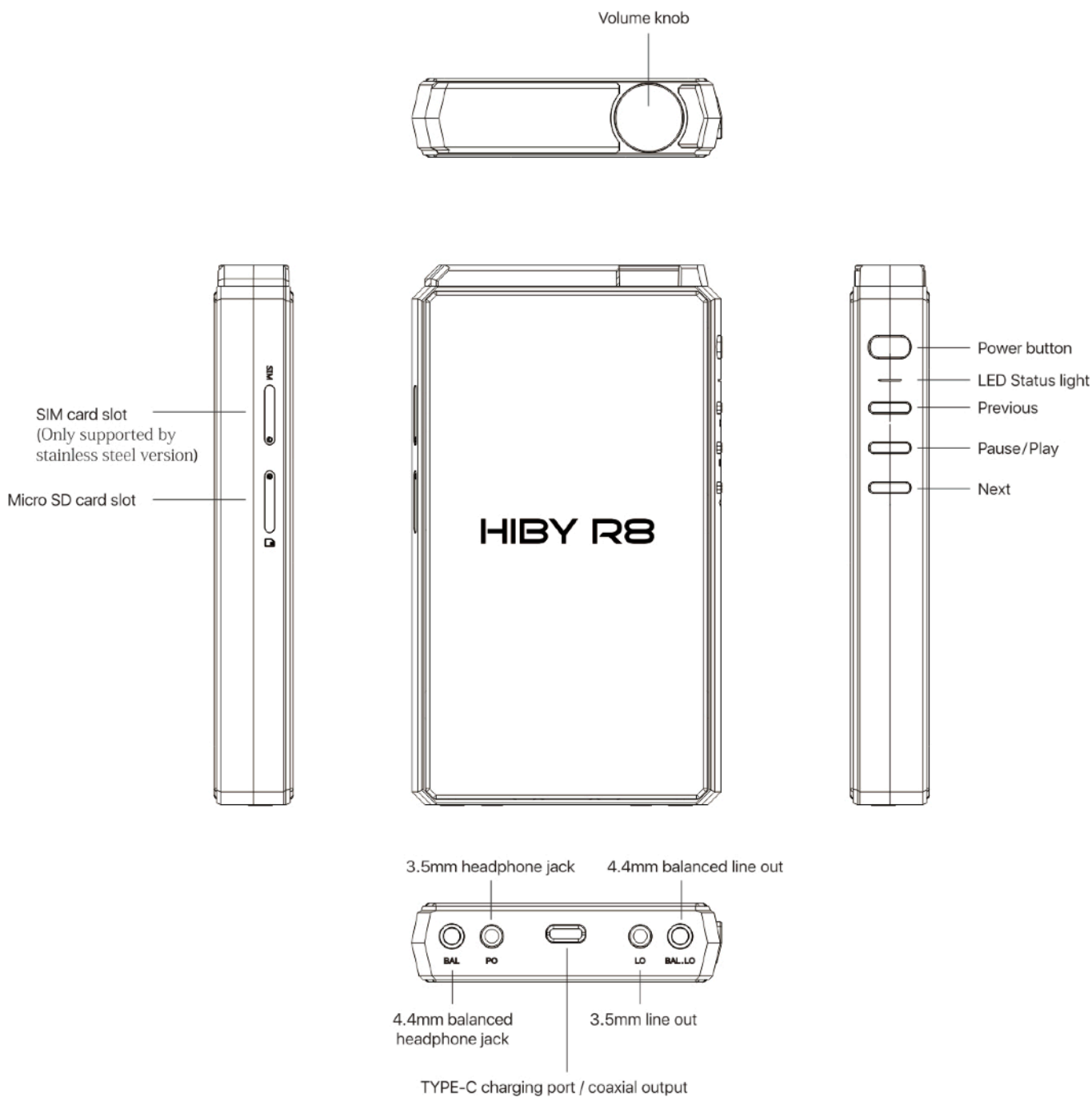




目次

本体、付属品	3
製品概要	4-15
基本操作	16-17
R8SSの4G通信使用に関して	18
設定 - メニュー	19
設定 - スマートフォンの保護	20
設定 - ネットワークとインターネット	21-25
設定 - 接続済みのデバイス	26-27
設定 - Audio Settings	28-30
設定 -ストレージ / システム	30-32
設定 - デバイス情報	32
Google Playアプリアップデート	33
オーディオアーキテクチャ	34
不具合が起きた場合の対処方法	34
注意事項	34
製品サポート	35-36
本体仕様	37-39

Buttons and ports



付属品

本体保護ケース×1 / 本体保護シート×1（予備）
※フロント、バックにあらかじめ保護シートが貼られています。
USB-C to USB-Aケーブル×1
USB-C to COAXIALケーブル×1
取扱説明書×1、保証書×1、メッセージカード×1
SIMイジェクトピン×1 / レトロスーツケース×1

HiBy R8AL / R8SS

これまでのDAPで培ってきた技術を全て投入した、
次世代のフラッグシップ 안드로이드ミュージックプレーヤー。
どこでも、再生したいものすべてを最高の音質でお楽しみください。



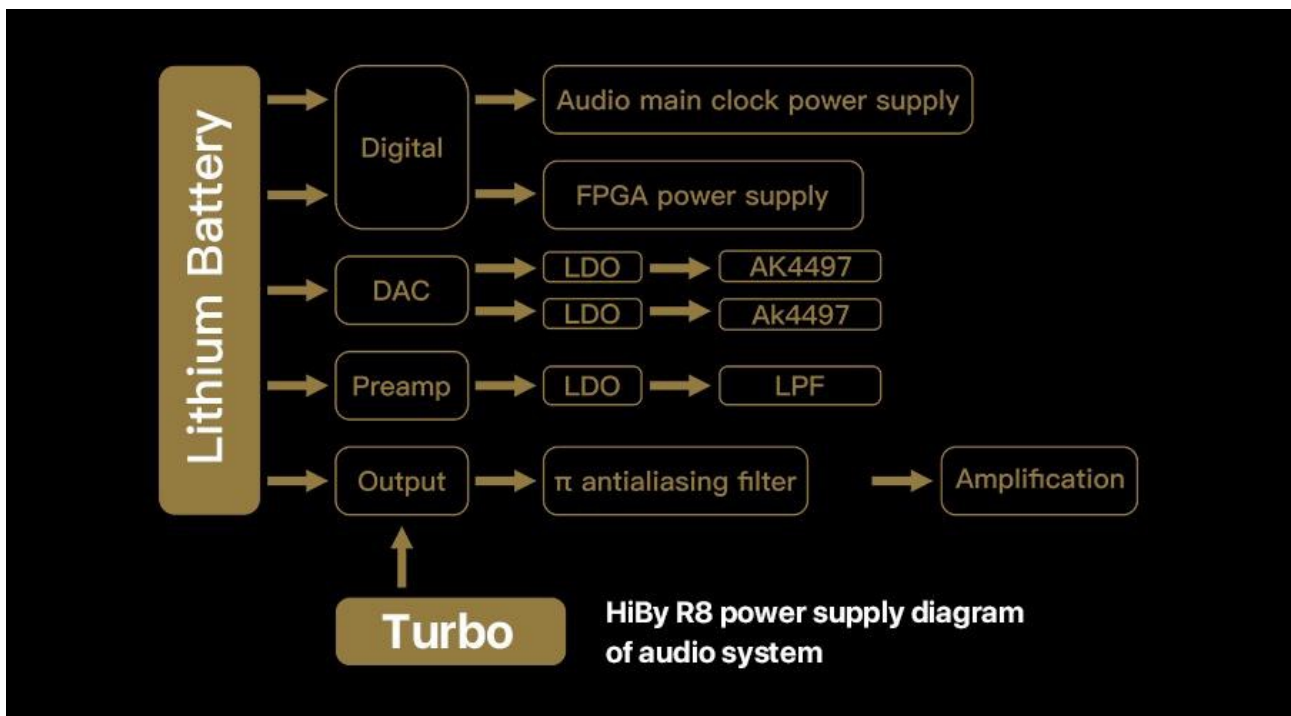
■ 高音質を追求したパワフルなバッテリー

高純度のコバルト素材がもたらす高出力、大容量の38Wh ATLカスタムバッテリーを搭載。高出力と低内部抵抗により、連続10000mA出力が可能。極限まで音質を追求しました。



■ 独自開発の強力な電源回路

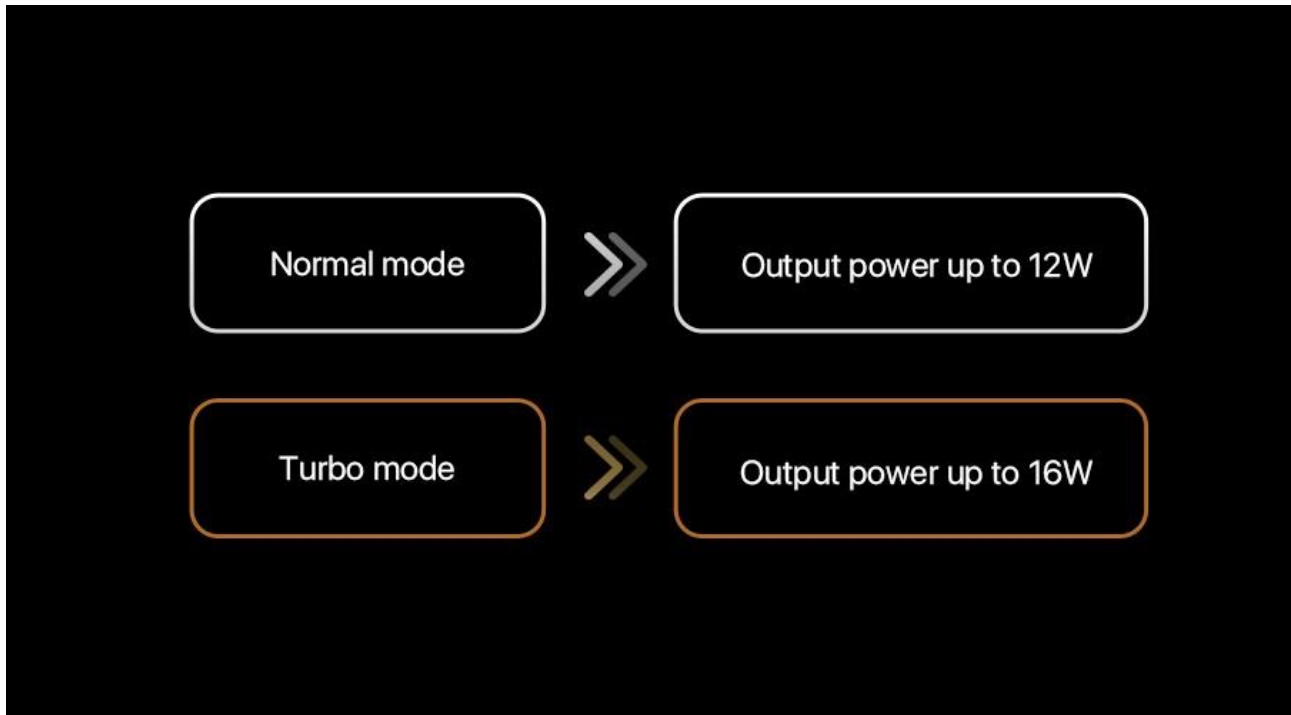
4つの独立した電源回路を搭載し、デジタル回路、DAC、プリアンプ、増幅回路への電源供給を最適化しました。



■ ターボモード

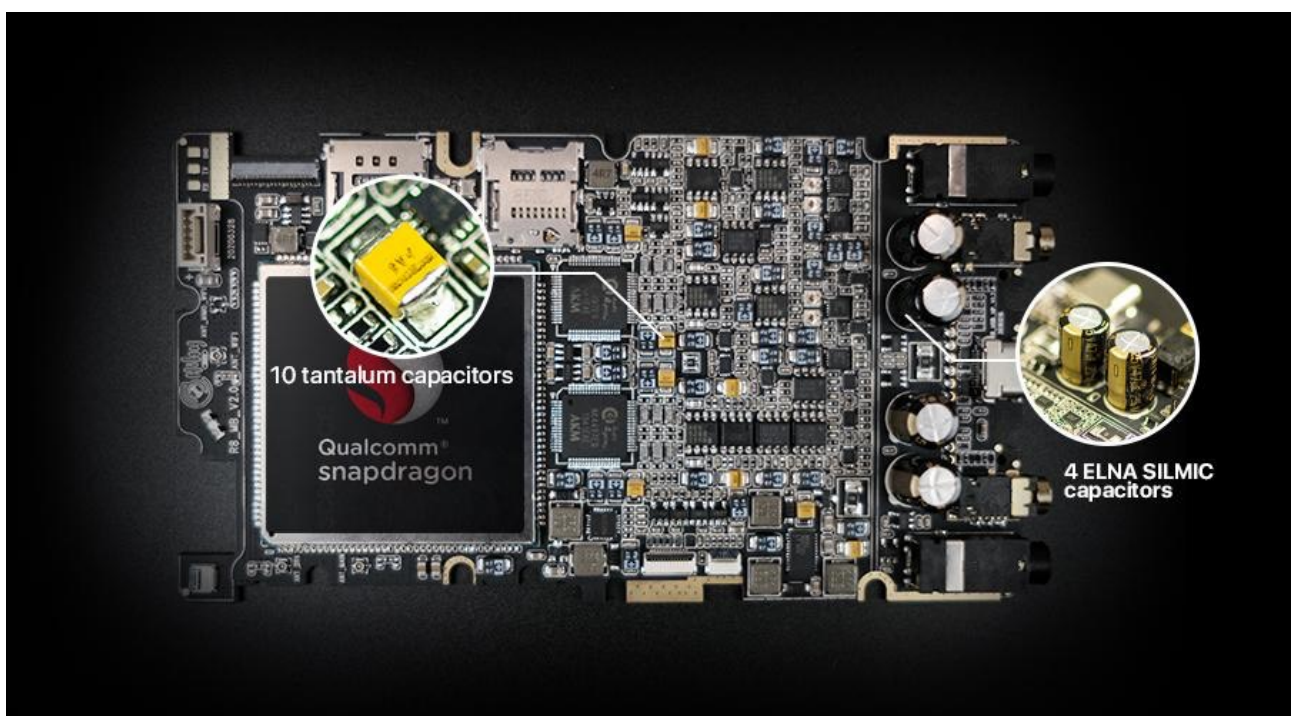
ターボモードをオンにすると、ハードウェアレベルで電源電圧を上げ、ヘッドフォンアンプの動作条件を変更します。これにより、より多くの電力とダイナミックレンジで、様々なオーバーイヤーヘッドフォンを駆動出来ます。

ノーマルモード 最大12Wの出力 / ターボモード 最大16Wの出力



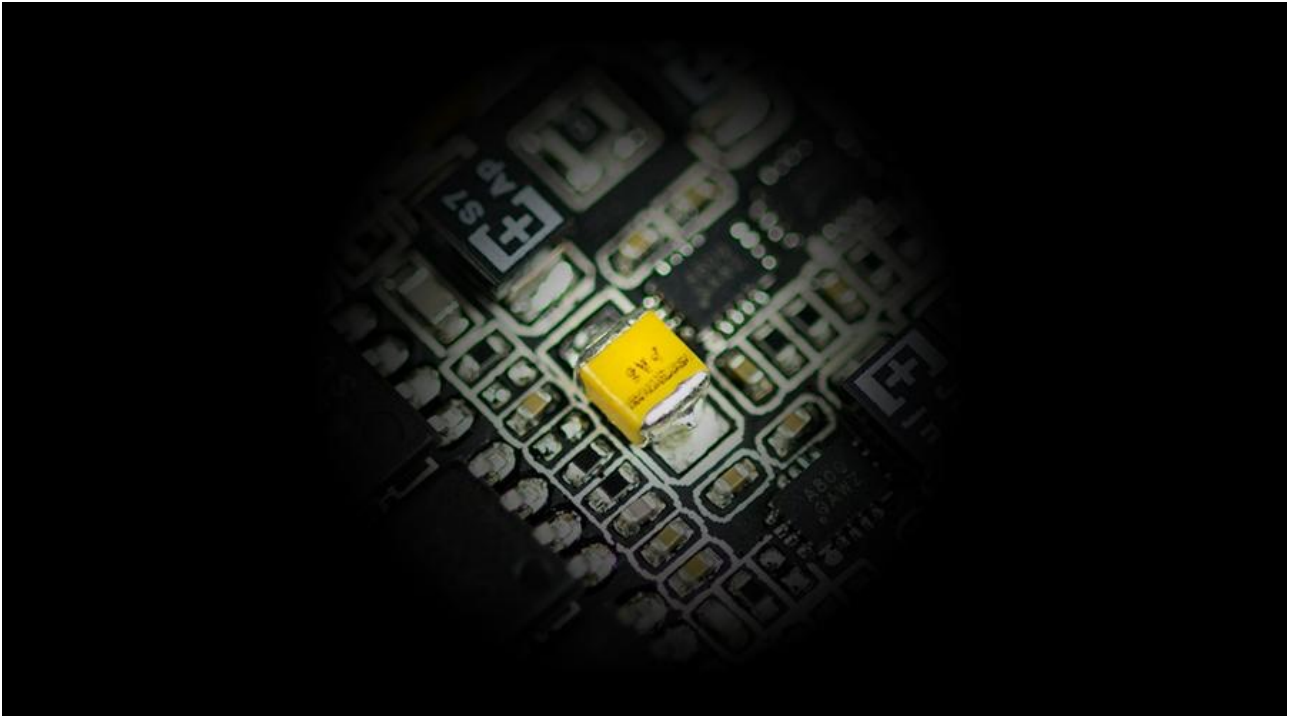
■ 豪華なオーディオコンポーネント

ELNA SILMICコンデンサ4個、タンタルコンデンサ10個、高リップル抑制比LDOレギュレータ18個、Panasonic Hi-PolymerPOSCAP35個。高品質なパーツを使用し、これまでに無い豪華な回路構成を実現。



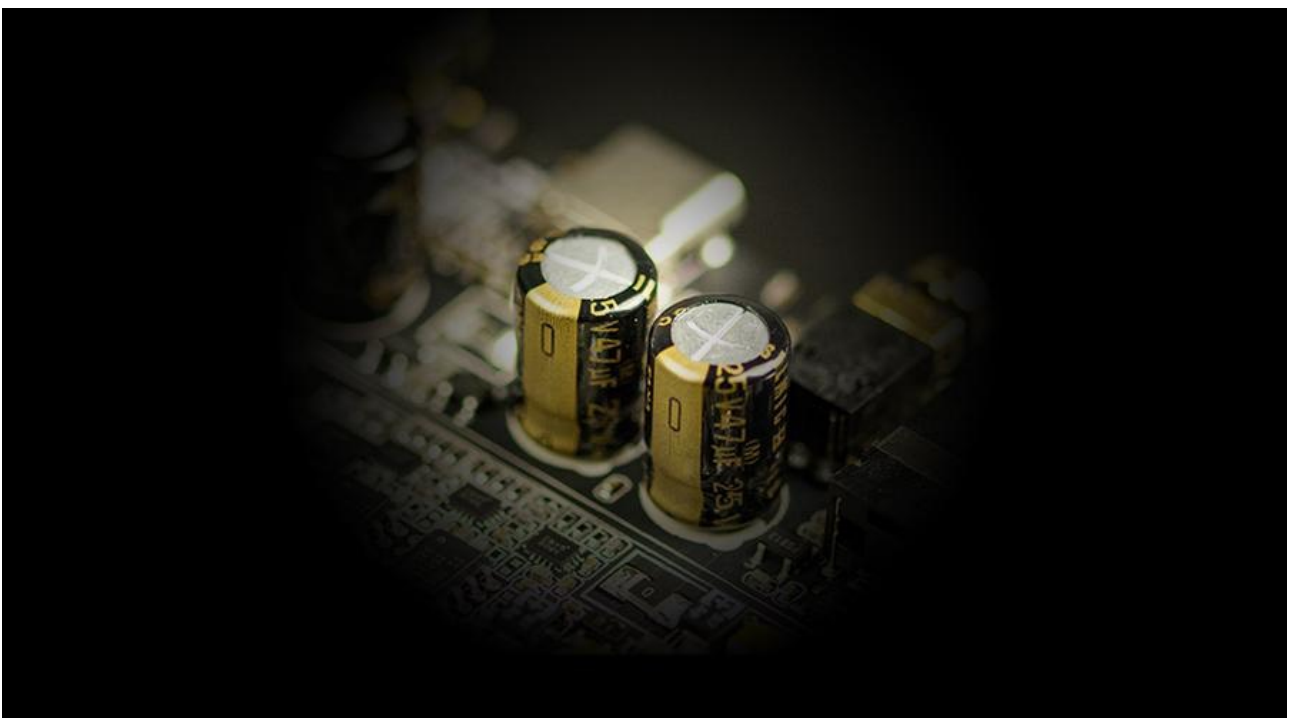
■ 厳選された金のコンデンサ

ホームオーディオ機器用に開発された、高精度、高密度の金のコンデンサを使用。
全て手作業によりマッチングされています。
クリーンな電力と究極のリップル除去、および超低歪を実現します。



■ ELNA SILMICIIオーディオコンデンサ

新開発、オーディオグレードのELNA SILMIC IIオーディオコンデンサを4個搭載。
誘電体として天然シルク繊維を使用しています。
これにより、3次高調波は-120dB以下を実現。



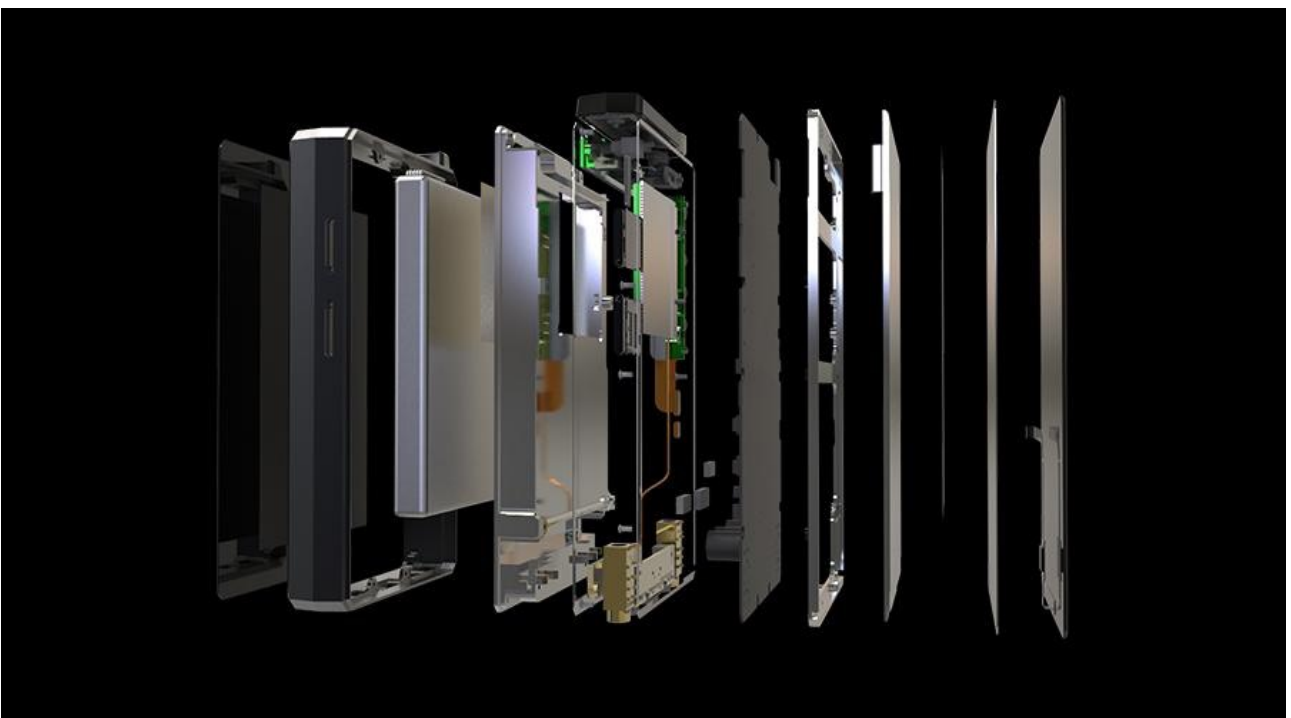
■ カスタム設計されたオペアンプ

R8の為にカスタムされたオペアンプ。
R8で使用されている“OP02オペアンプ”は、HiByが独自開発し、
驚異的な出力レベルを実現しています。



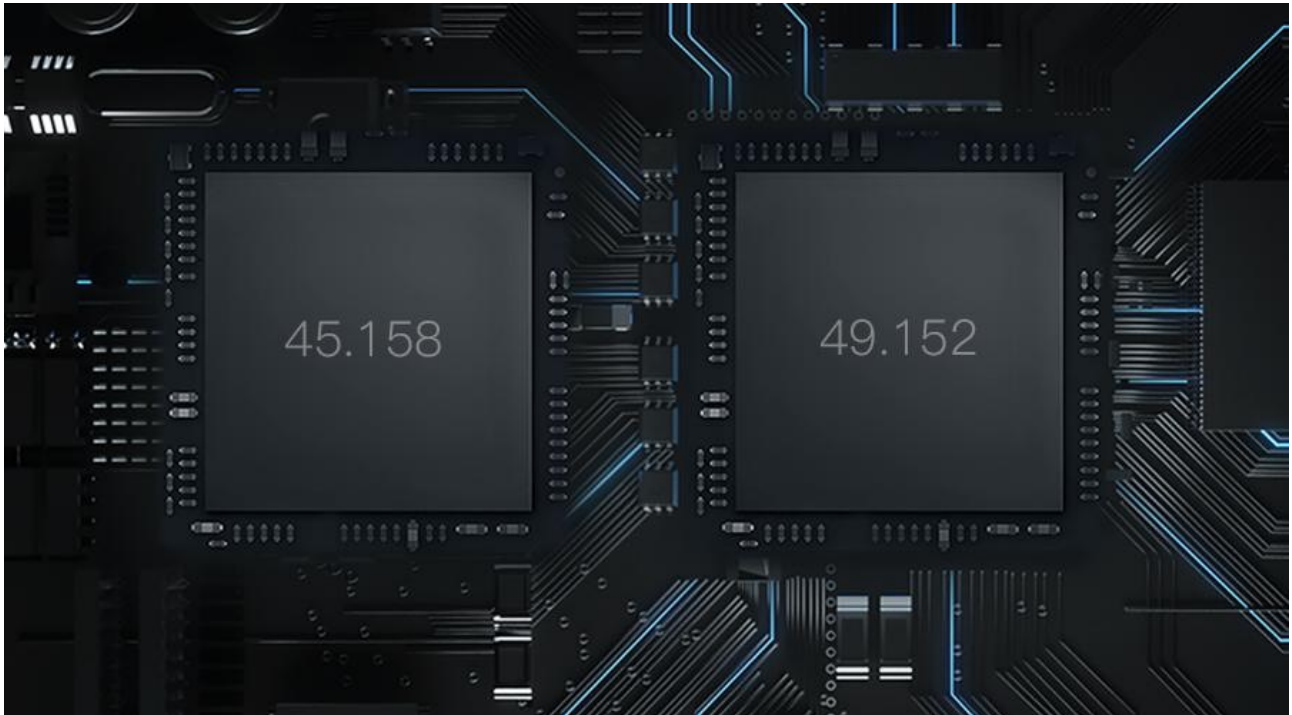
■ ピュアオーディオを実現するデュアルシールド

カスタマイズされた内部導電性編組、吸収材などが、内部干渉から保護します。
また、カスタムメイドのアルミプレートがマザーボードを外部干渉から保護します。
マザーボードには、グラフェンを使用した放熱設計を採用し、
高効率な放熱を実現しています。



■ フェムト秒クラスの精度

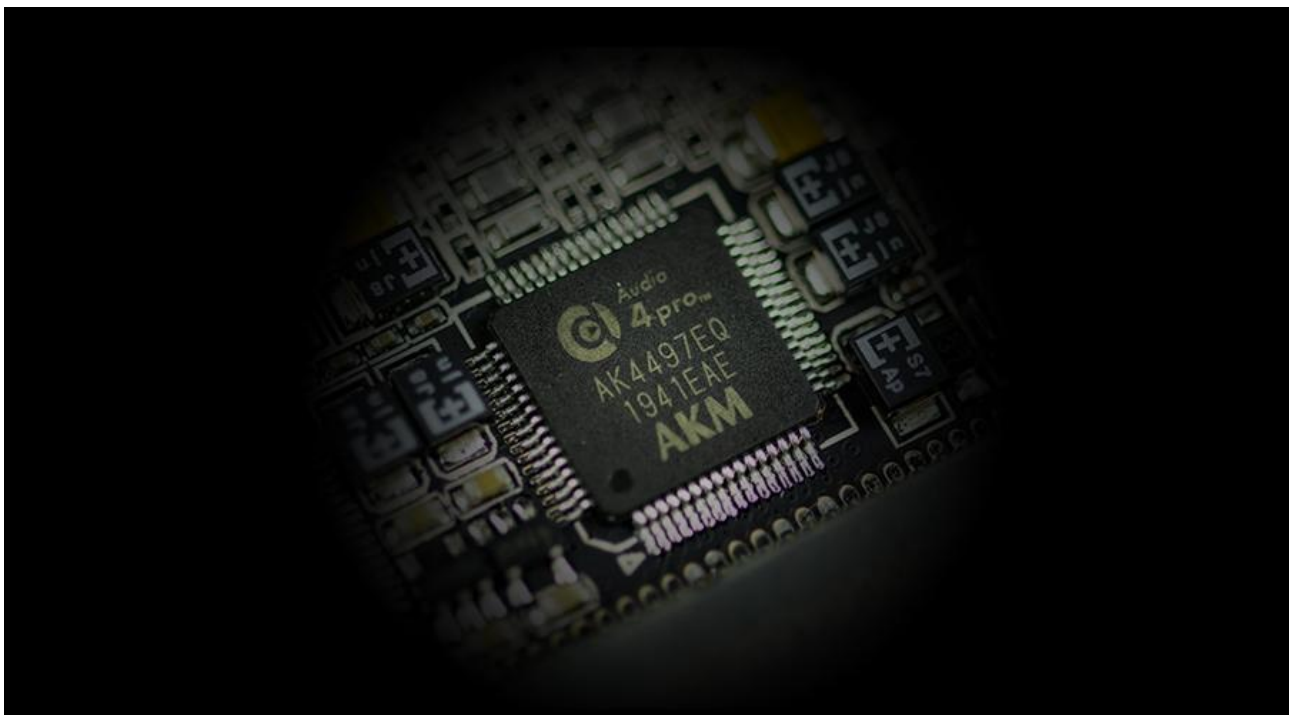
45.1584MHzと49.152MHzにロックされたデュアルオシレータは、フェムト秒クラスの精度を実現し、位相ノイズを1kHzオフセットで -159dBc / Hz未満に低減します。



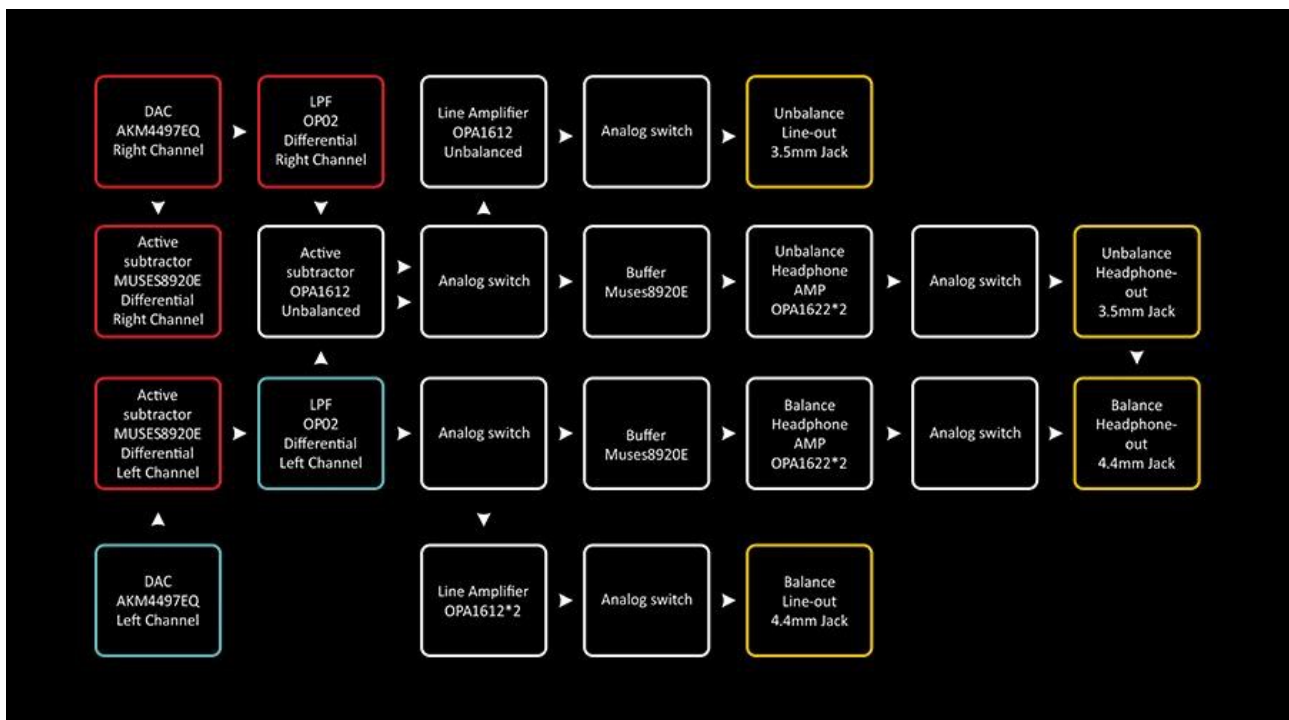
■ デュアルAK4497DAC

DACには、AK4497を採用。

独自開発のオーディオ回路と独立した電源回路構成により、DSD512および32bit / 768kHz PCMの再生を実現しています。



■ オーディオシステムブロックダイアグラム



■ 究極のオーディオクオリティとパワー

3.5mm / 4.4mmのライン出力とヘッドフォン出力をそれぞれ独立して搭載。

全て独立した回路設計により、高音質化を実現しています。

1000mWを超える出力で、すべてのオーバーイヤー型ヘッドホン簡単に駆動します。

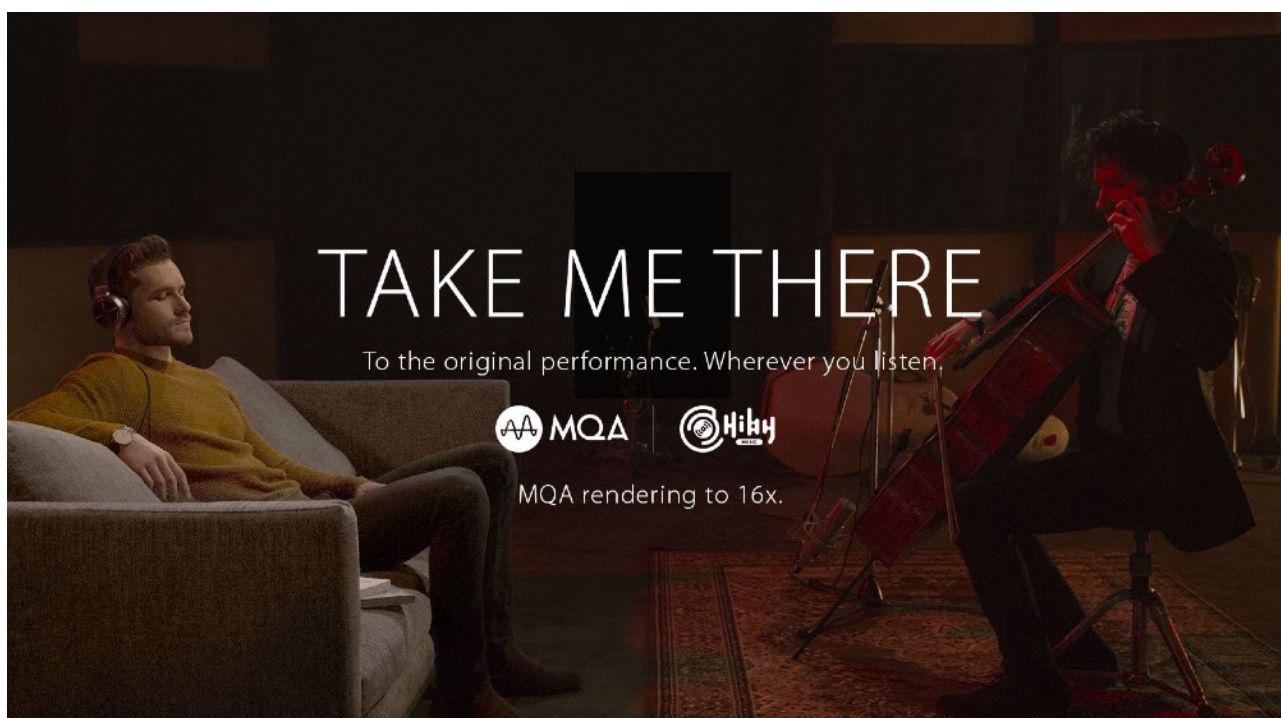


■ オーディオパラメーター

	4.4mm PO@32Ω	4.4mm LO	3.5mm PO@32Ω	3.5mm LO
Output Impedance	0.8Ω	10K	0.4Ω	10K
Absolute Noise Floor	5.9 Vrms	4.1 Vrms	3.1 Vrms	2 Vrms
Output Power	1088mW	/	300mW	/
THD+N	0.00083%	0.00046%	0.00065%	0.0004%
Crosstalk	113dB	107dB	74dB	102dB
Noise	8.4uVrms	5.7uVrms	4.6uVrms	3.3uVrms
SNR	117dB	117dB	116dB	116.7dB
Dynamic Range	114dB	115dB	114dB	113dB

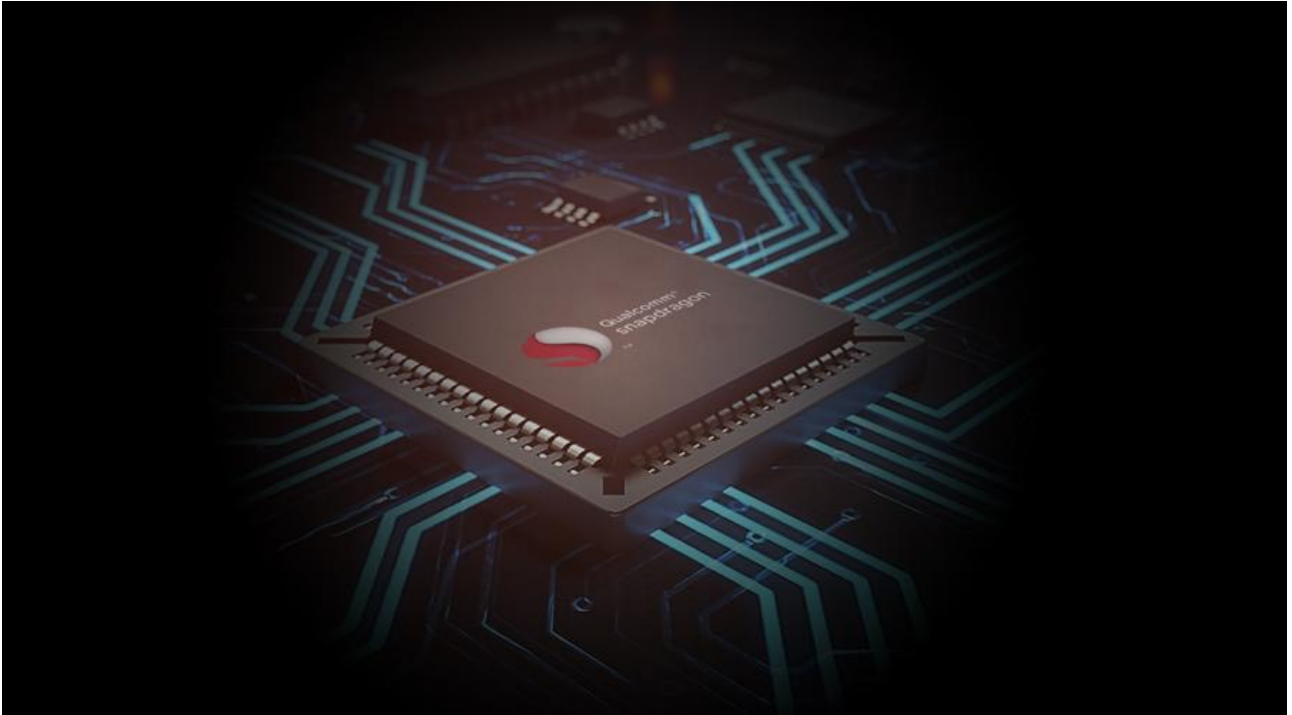
■ 16倍 MQA レンダリング

HiBy R8は、16倍のMQAレンダリングが可能な、
世界で最初のポータブルミュージックプレーヤーです。
HiByはMQAと協力して、リスナーに真のオリジナル音質を提供します。



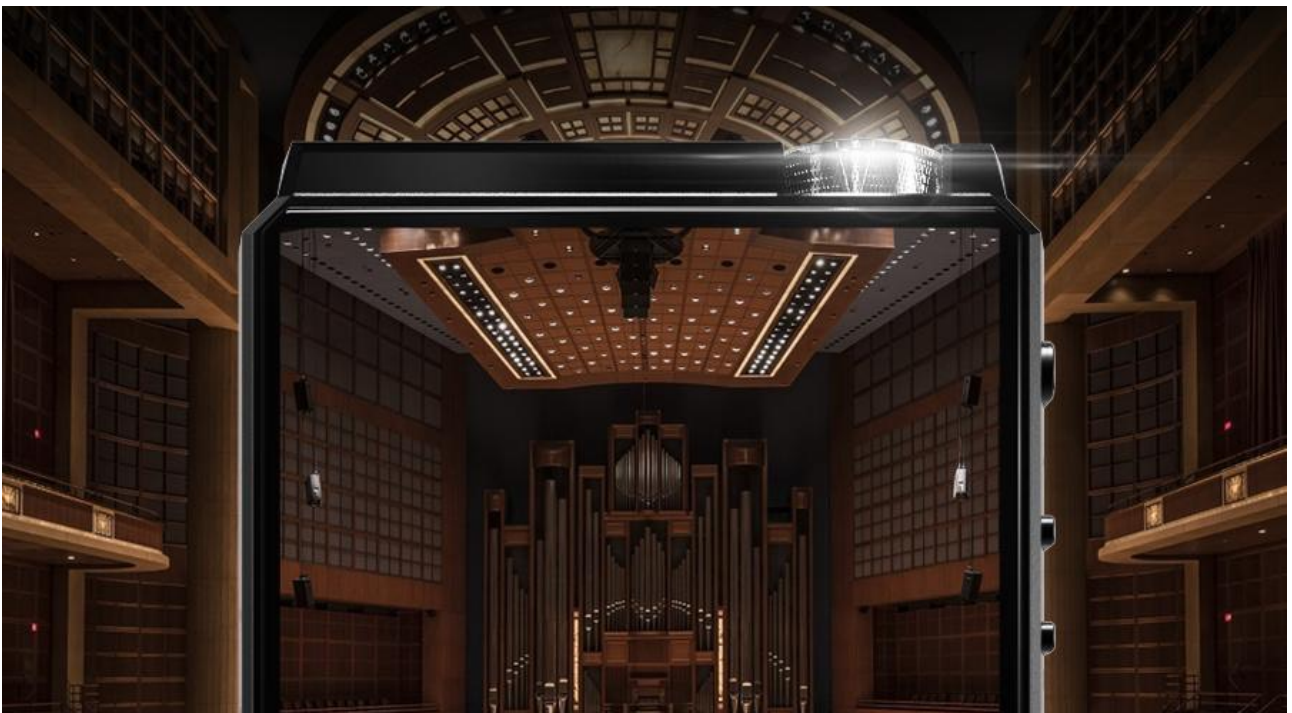
■ パワフルなSoC

Android9オペレーティングシステムを駆動するため、
速度と安定性を備えたSnapdragon660 SoCを採用。
今まで発売されてきたDAPの中で、最もパワフルなSoCを搭載しています。
14nm LPPプロセス、8x Kryo 260、Adreno 512 GPU、最大2.2GHzのCPU。
4GB RAM + 64GB ROM + 最大2TBの Micro SDストレージ。



■ 1080PフルHDディスプレイ

5.5インチ第5世代コーニングゴリラガラス、解像度1920x1080、
ピクセル密度400ppi、アスペクト比16 : 9、疎油性。
ダブルタップと複数の指のジェスチャーをサポートします。



■ 最新のHiBy OS

Android9上に、最新のHiBy OSを搭載しました。



■ ワイヤレス主流の環境にマッチした、完全なマスタリングコンソール

2.4/5GHzデュアルバンドWiFi,Bluetooth 5.0

Bluetooth送信 : UAT, LDAC, aptX, aptX HD, AAC, SBC

Bluetooth受信 : UAT, LDAC, AAC, SBC

HiByLink、DLNA、AirPlay、WiFiによる音楽転送をサポートします。



■ 新しいデザインモチーフ

パワーと自信を醸し出す、男性的なストレートエッジのデザインを採用。



■ ボリュームノブ

プロオーディオグレードのアルプス社製デジタルエンコーダを搭載。
スムーズな制御を実現します。



■ 超豪華パッケージ

レトロなスーツケースと本革ケースは、優雅さと気品のあるオーラを伝えます。



※写真のR8本体ケースは限定バージョンです。
日本で発売されるR8AL/R8SSには、通常バージョンの本体ケースが付属します。

■ 本体情報

R8 Aluminium Alloy Black (WiFi Model)

本体サイズ143×81×20 mm

4GB RAM + 64GB ROM

420g

R8 Stainless Steel Black (WiFi+4G LTE Model)

本体サイズ143×81×20 mm

4GB RAM + 64GB ROM (日本仕様)

520g

■ 対応フォーマット

DSD,DXD,WAV,FLAC,ALAC,APE,WMA lossless,AIFF,AAC,mp3,mp2,Ogg Vorbis

32bit/768kHz、DSD512まで対応。

CUEインデックス付きファイル再生

ギャップレス再生

フォルダースルー再生

10バンドイコライザー

MSEB装備

基本操作

■ 電源オンオフ、再起動、スクリーンロック/解除

1. 電源オン

電源ボタン2秒長押し

2. 電源オフ

電源ボタンを押し続けると、電源がオフになります

3. 再起動

画面がロックされている場合は、最初に電源ボタンを短く押して画面のロックを解除します。
電源ボタンを押し続けると、電源オフ/再起動のメニューが出てくるので、再起動を選択します。

4. スクリーンロック/解除

画面が表示されている状態で電源ボタンを1回押すと、スクリーンをロック出来ます。
その後、電源ボタンを1回押して画面を表示させてから、矢印方向に画面をフリックすると、スクリーンロックを解除出来ます。

5. 画面を表示する

画面が消灯している状態で電源ボタンを1回押す、または、スクリーンをダブルタップすると、画面が表示されます。

■ オペレーティングシステム

R8は、サードパーティ製オーディオ機器や、一般的なアプリのインストール、Playストアの使用など、ほとんどのスマートフォンと同じように操作できる、カスタマイズされたAndroid9オペレーティングシステムを搭載しています。

■ ミュージックプレイヤーアプリ

HiByMusic Professionalエディションがプリロードされており、強力な機能、高品位なサウンド、そして、使いやすさを実現するために、HiFiデジタルオーディオプレーヤー用に特別にカスタマイズされています。

Playストアでは、市場に出回っているすべてのアプリのダウンロードとインストールがサポートされています。

■ 3.5mmと4.4mmのラインアウト

自動ラインアウトモードスイッチ搭載。 デバイスは、ヘッドホンではなくアンプに接続されていることを自動的に検出し、自動的にラインアウトモードに切り替わります。

■ コアキシャルデジタルオーディオアウトプット

R8のtypeC USBポートには、同軸デジタル出力が含まれています。

これは、パッケージに含まれているtypeC-RCAアダプターケーブルを使用して利用できます。他のオーディオ出力接続がない場合、プレーヤーはデフォルトでこの同軸デジタル出力を使用します。

逆に、他の接続が検出されると、この出力はミュートされます。

■ RGB LED

1. R8電源ボタンのLEDは、DACに送信されるオーディオ形式のインジケータライトとしても機能します。

2. 停止状態-淡い青

PCM 48kHz以下の再生-青

PCM 64-192kHzの再生-緑

PCM 192kHzよりも大きい場合-オレンジ

DSD 白

USB-Cで充電中は赤の点滅のみです。充電していない場合に限り、色が変わります。

3. 充電中-赤

(急速充電中は5秒で1サイクル、低速充電では10秒で1サイクルの点滅)

■ Micro SD Card

1. 付属のトレイエJECTAピンをトレイのピンホールに押し込んでMicro SDカードトレイを取り出し、Micro SDカードをトレイに取り付け、トレイを挿入します。

最大2TBまで認識出来ます。(FAT32/exFAT/NTFSをサポート)

2. R8はSDカードの挿入を検出し、通知シェードに「SDカードが挿入されました」と表示し、シェードを引き下げて、表示されるセットアップメニューの「新しいSDカードが検出されました」行をタップします。

「外部ストレージとして使用」を選択することをお勧めします。

選択を確認し、「次へ」をタップしてセットアップを終了します。

■ 充電

大容量の38Wh ATLカスタムバッテリーを搭載。

バッテリー容量は10000mAhで、Quick Charge4.0がサポートされています。

QC4.0を使用すると、5時間でフル充電出来ます。

充電は、5V≒2A / 9V≒2Aの充電器を推奨します。

R8SSの4G通信使用に関して

■ R8SSの4Gデータ通信の仕様説明

HiByR8SSではSIMカードスロットを実装し、4G回線でのデータ通信が可能です。
R8ALではWi-Fiでのみご使用が可能です。

4G通信に対応しているR8SSの発売は中国・香港・日本のみとなり、中国・香港版と日本版ではRAM、ROM容量が異なります。

※中国・香港版のR8SSはRAM6GB・ROM128GB、日本版はRAM4GB・ROM64GB

SIMカードスロットは本体左側面の2つあるスロットのうち上部にあるスロットです。
対応しているSIMサイズはnanoSIMです。

R8SSは下記のバンド帯に対応しています。

LTE対応バンド

FDD-LTE (Band 1/3/5/8/11/21/28)

TD-LTE (Band 41)

インピーダンスが低いイヤホンでご使用の場合、LTE BAND 11/21の1.5GHz帯で接続して通信した時に、お客様の使用環境によってはノイズが聴こえる場合がございます。
その際は、イヤホンにインピーダンスアダプター等を接続してご使用してください。

■ R8SSの4G回線使用上の注意

本体に通話機能はございません。

お客様が契約されているキャリアの使用する周波数帯域(バンド帯)を必ずご確認ください。
キャリアごと、またお住まいの地域ごとで使用されている周波数帯域が異なります。
キャリアや地域によってはR8SSで通信がご利用いただけない場合がございます。

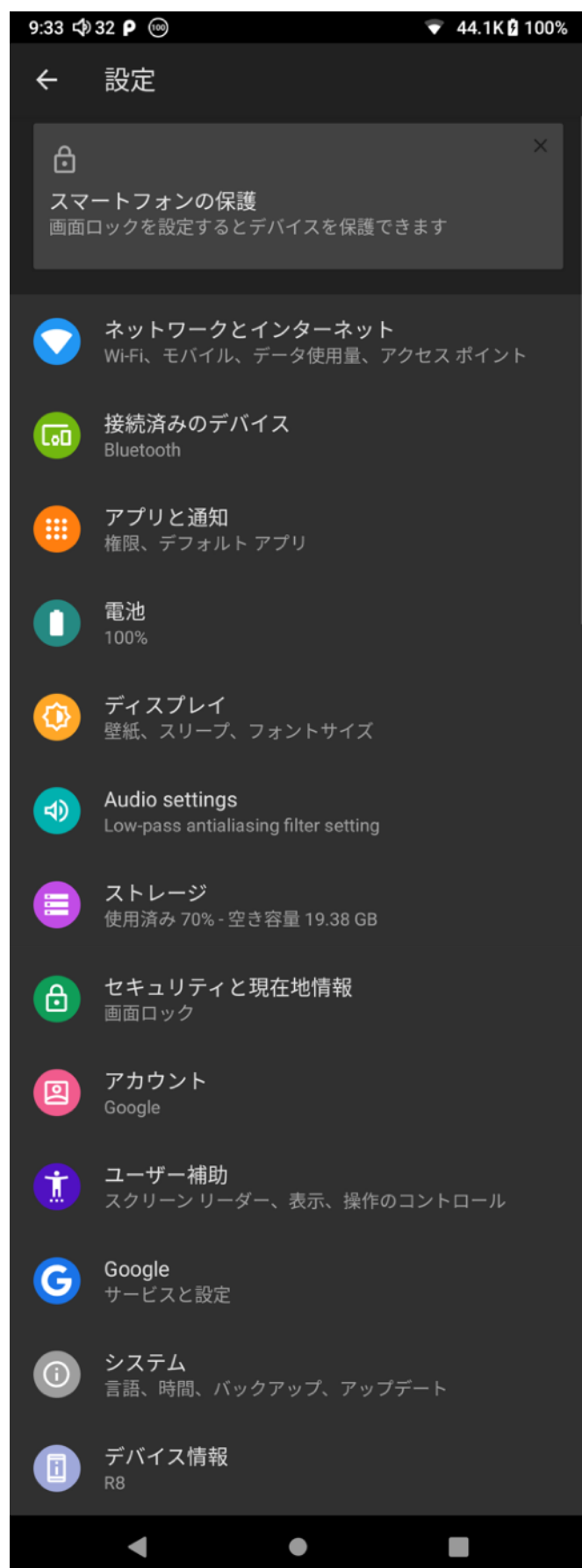
HiBy Japanではお客様がご使用のキャリアやお住いの地域ごとに必要なバンド帯域などのサポートは致しかねます。

また、R8SSでは3G回線には対応しておりませんのでご注意ください。

何卒ご了承の程、宜しくお願い致します。

設定メニュー

R8ALとR8SSの設定項目は、4G-LTEに関する設定項目以外は同じです。
ここでは、R8SSの設定項目を説明します。



■ スマートフォンの保護

スマートフォンの保護をタップします。
画面ロックの解除方法を選択出来ます。

画面表示方法は、電源ボタン1回押し、または、画面ダブルタップです。

なし	画面ロックなし
スワイプ	画面表示後、画面をスワイプすると画面ロックを解除出来ます。
パターン	画面表示後、パターンを入力すると画面ロックを解除出来ます。
PIN	画面表示後、PINコードを入力すると画面ロックを解除出来ます。
パスワード	画面表示後、パスワードを入力すると画面ロックを解除出来ます。



■ ネットワークとインターネット

1. Wi-Fi接続(2.4/5GHzデュアルバンドWiFi)

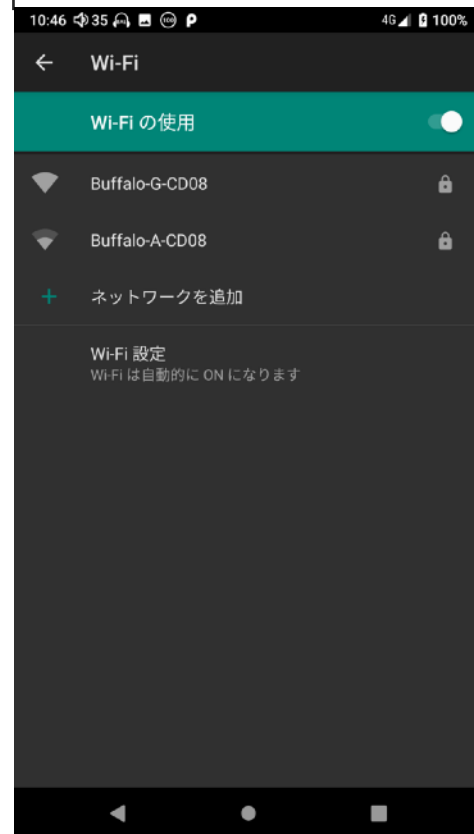
Wi-FiをON→



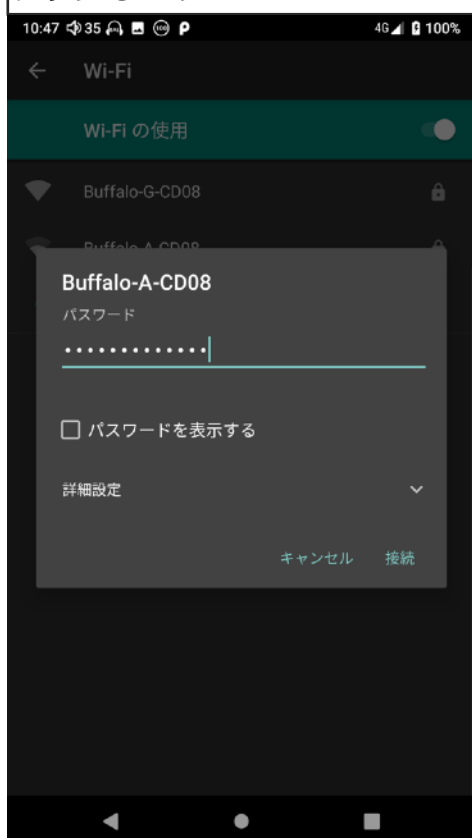
Wi-Fiをタップします→



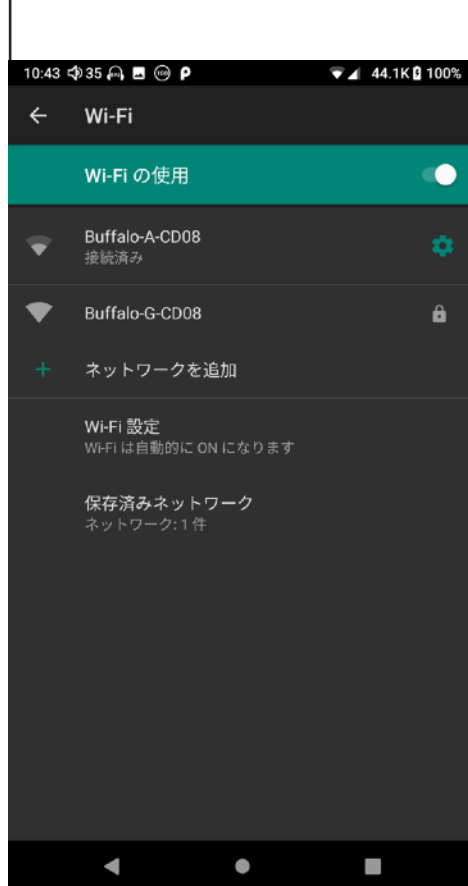
接続するWi-Fiをタップします
→



パスワードを入力して、接続を
タップします→



Wi-Fiに繋がります

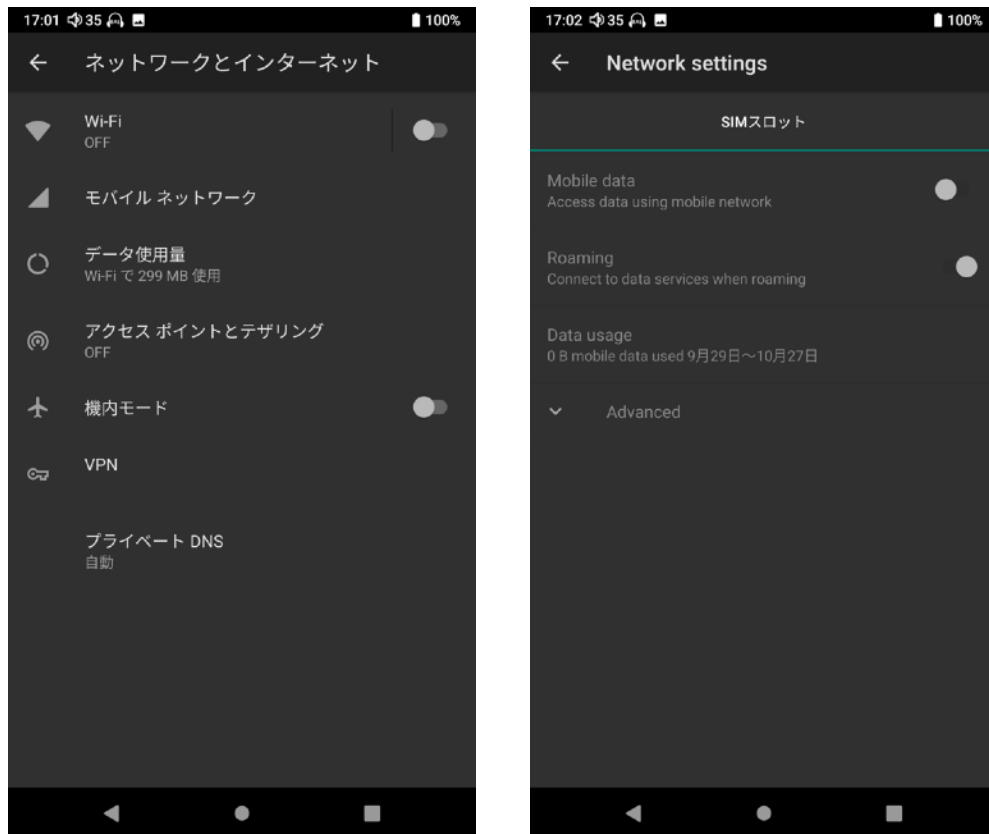


2. モバイルネットワーク接続（R8SSのみ）

nanoSIMカードをR8SSに挿入します。

※このままではSIMを認識しません。

設定 → ネットワークとインターネット → モバイルネットワーク
モバイルネットワークの設定項目がグレーアウトしています。



次に、本体を再起動します。

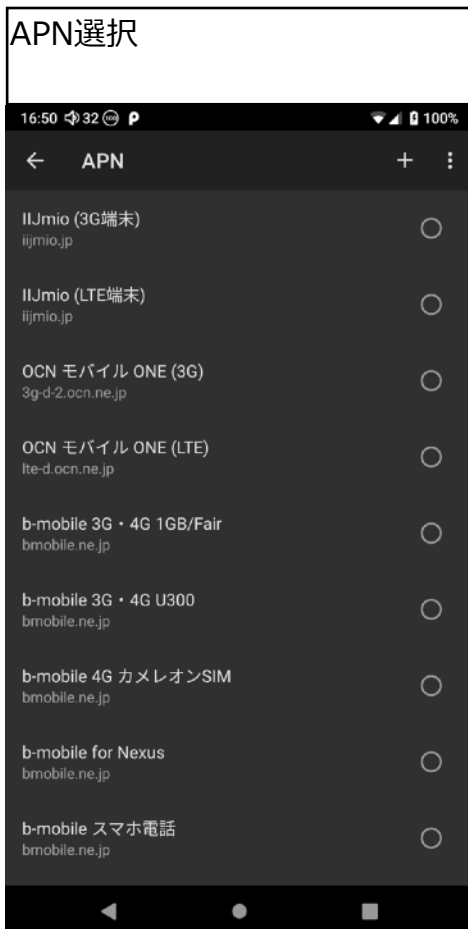
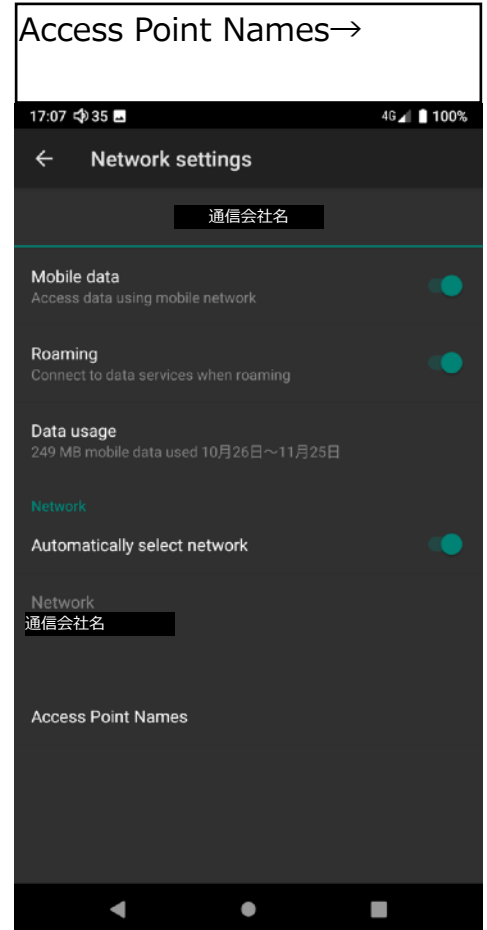
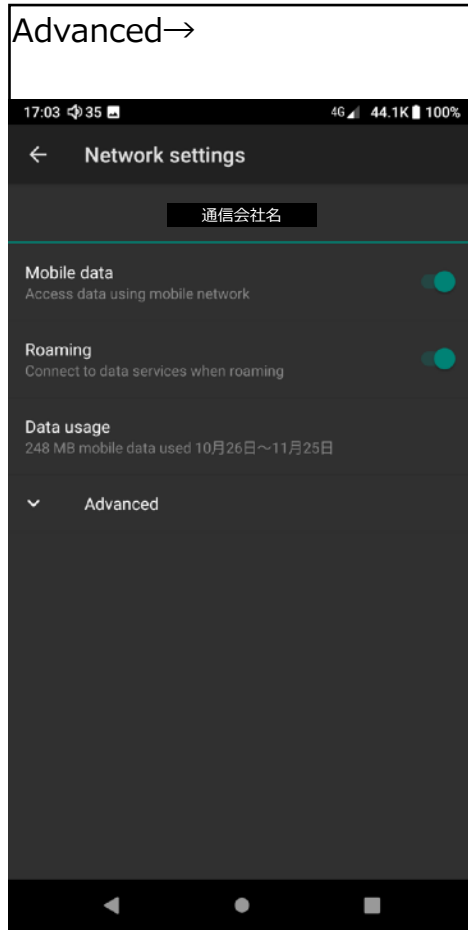
再起動後、設定 → ネットワークとインターネット → モバイルネットワーク

モバイルネットワークのメニューの下に、通信会社名が表示されます。
画面右上にも“4G”とアンテナマークが表示されます。

モバイルネットワークをタップします。
モバイルネットワークの設定項目が表示され、設定出来る様になります。
次に、Advancedをタップします。

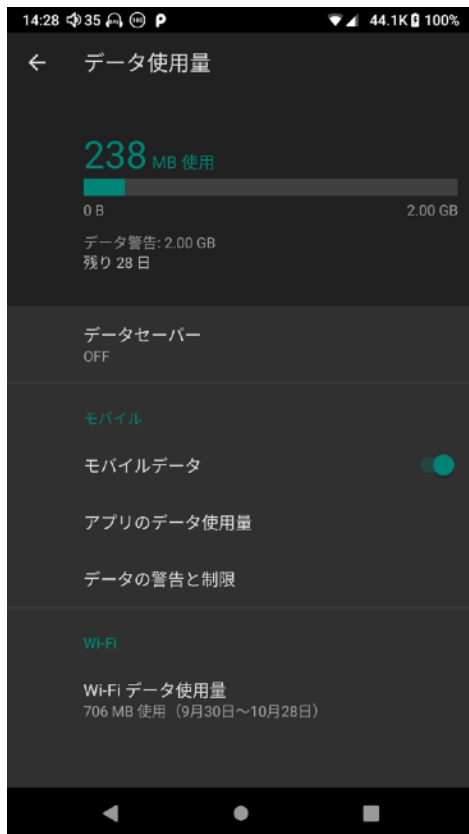
Access Point Namesが表示されるので、タップします。

使用している通信会社のAPNを選択します。
これで、4G LTE回線に繋がります。



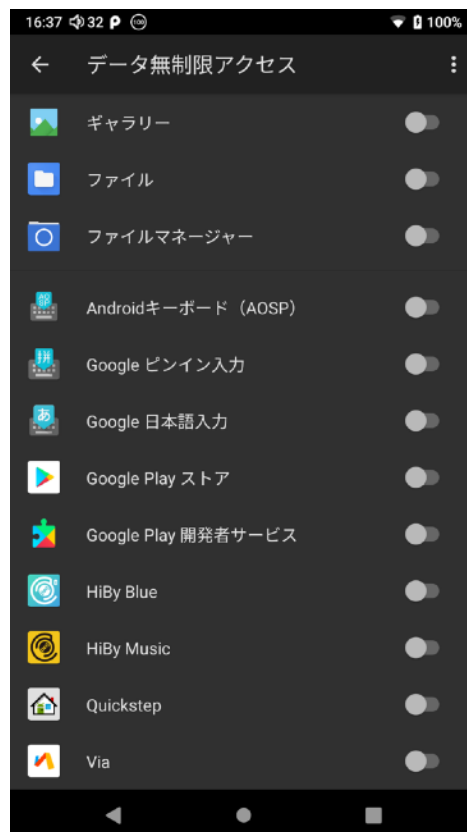
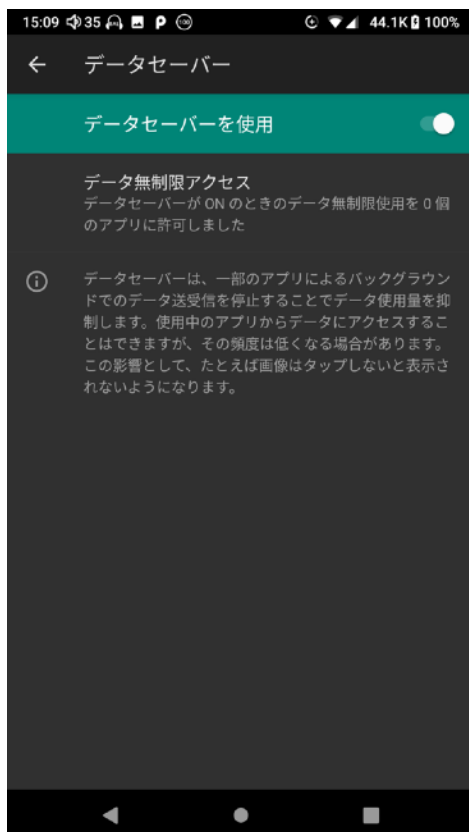
3. データ使用量

4G-LTE / Wi-Fiのデータ使用量を確認、アプリごとのデータ通信の制限/無制限などが設定出来ます。



データセーバー

アプリごとに、データ通信を無制限アクセスに設定出来ます。



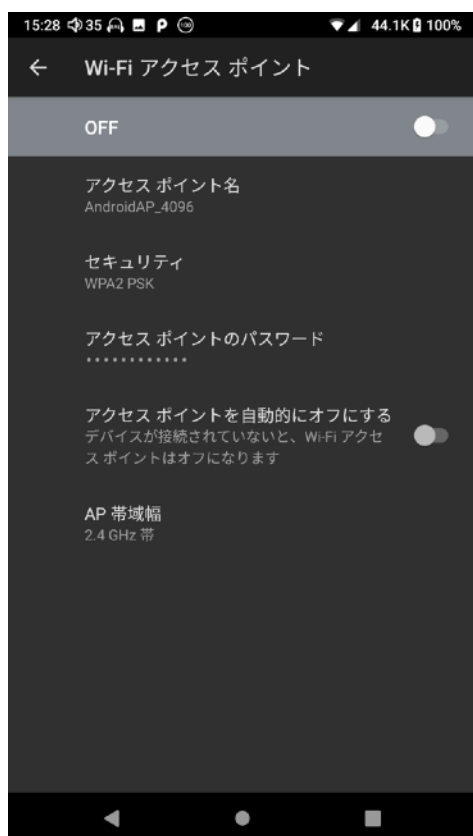
4. アクセスポイントとテザリング

R8SSをWi-Fiアクセスポイントに設定、USB接続でテザリング、Bluetooth接続でテザリングするための設定をします。



Wi-Fiアクセスポイント

アクセスポイント名、セキュリティのON/OFF、パスワードの設定、アクセスポイント自動OFF機能、アクセスポイントの2.4GHz/5GHzの切り替えを設定出来ます。



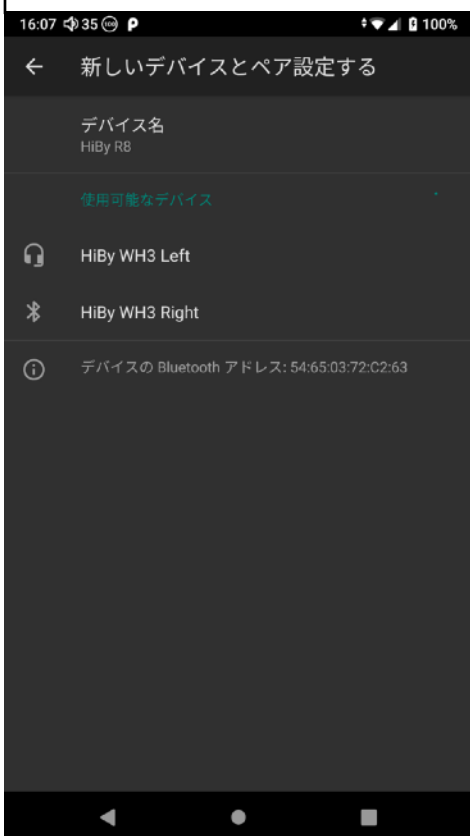
■ 接続済みのデバイス

Bluetoothの接続設定

新しいデバイスとペア設定する
をタップ→



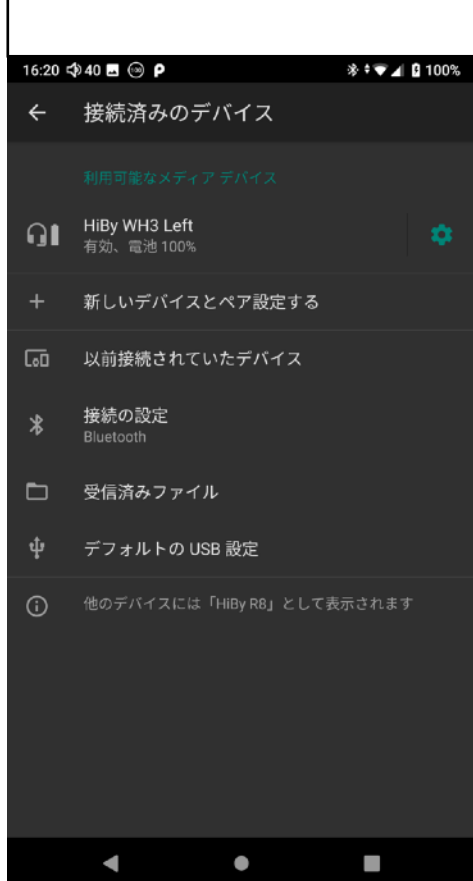
接続したいデバイスを選択→



ペア設定します→



接続が有効になります



■ Bluetooth

Bluetooth 5.0

Bluetooth送信：UAT, UAT TWS, LDAC, aptX, aptX HD, AAC, SBC

Bluetooth受信：UAT, LDAC, AAC, SBC

HiByLink、DLNA、AirPlay、WiFiによる音楽転送をサポートします。

■ UAT (Ultra Audio Transmission)

HiByMusicが独自に研究開発したHi-ResBluetoothコーデックです。

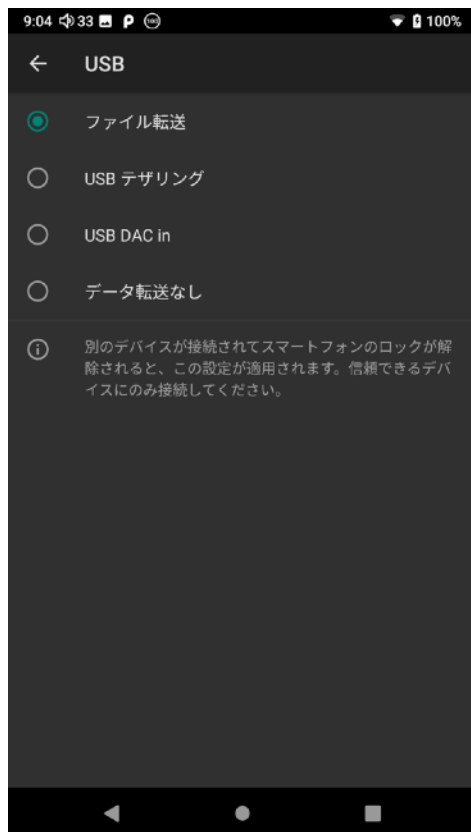
業界初192kHzのサンプルレートと1.2Mbpsのビットレートをサポートします。

このBluetoothコーデックは、さまざまな音楽ジャンルを最高の音質でお届けします。

- R8とBluetooth機器をペアリングして、R8をUSB DAC inモードにして、パソコンとR8をUSBケーブルで繋ぐと、パソコンで再生した曲をR8を介してBluetooth機器で聴く事が出来ます。

■ デフォルトのUSB設定

Type-C USB 3.1 portの接続設定をします。



● USB Digital out

PCM 768kHz / 32bit

DSD 512 (HiBy Music使用時)

MQA

MQA出力を使用する場合は、
USBソフトウェアボリューム
を最大にする事で出力出来る
ようになります。

● USB DAC in

PCM 768kHz / 32bit

Windows:DSD 512

MAC:DSD512(Native)/

DSD256(DoP)

HiBy Musicを使用時、USB
Digital outの出力性能をフル
で使用する場合、設定項目
の、“Exclusive HQ USB”を
ONにします。

■ ファイル転送/デジタルオーディオ入出力

1. ファイル転送

付属のUSBType-Cケーブルを使用してR8をコンピューターに接続します。

ファイル転送をタップ

これで、R8はファイル転送用のMTPストレージデバイスとして機能します。

Macでは、MTPファイル転送を有効にするために、アプリのAndroid File Transferをインストールする必要があります。

2. USBテザリング

USB接続したデバイスに、ネットワークをテザリング出来ます。

3. USB DAC in

付属のUSBType-Cケーブルを使用してR8をプレイヤーに接続します。USB DAC inをタップします。

R8がUSB DAC inモードに切り替わります。

windowsでは、USBオーディオドライバーをインストールする必要があります。ドライバーはHiBy Downloadページよりダウンロード出来ます。

<https://www.iidapiano.store/hibydownload>

接続を認識しない場合は、接続したまま本体を再起動すると認識します。

4. データ転送なし

充電のみします。

※他のモードでも、接続機器が対応していれば、充電します。

5. USBデジタルオーディオ出力

外部USB DAC等をR8 USBタイプCポートに接続します。

ビットパーフェクト出力はDSD512まで、HiByMusicを使用時にサポートされます。

専用のUSBドライバーのないサードパーティアプリは、USBオーディオ出力をリサンプリングします。

UAC1 USBデバイスの場合は96kHzまで、UAC2 USBデバイスの場合は768kHzまでサポート。

UAC=USB Audio Class

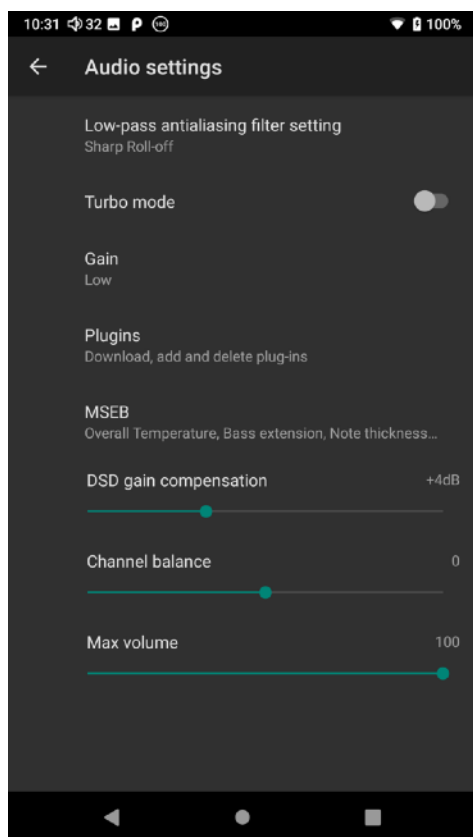
USBデジタルオーディオ出力は、接続機器にもよりますが、基本的に、どのモードになっていても出力します。

USB DAC inモードの時にR8にプレイヤーを繋いだ場合、USB DAC inモードが優先されます。

出力を認識しない場合は、接続したまま接続機器を再起動すると認識する場合があります。

■ Audio settings

オーディオに関する設定をします。



●Low-pass antialiasing filter setting:デジタルフィルターの設定。

●Turbo mode:ターボモードのON/OFF (最大出力16W)

●Gain:Low/Middle/Highの切り替え (最大出力12W)

●Plugins:プラグインエフェクトをインターネットからダウンロードして使用出来ます。

●MSEB:MSEBの効果を設定します。

※設定アプリ内のMSEBは、Bluetooth outとUSB Digital outでは無効になります。

phone out,Coaxial out,Line outには有効です。

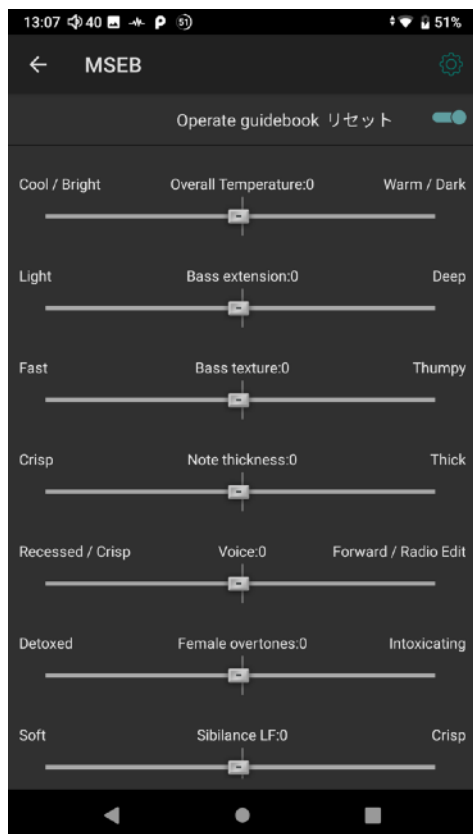
DSD/MQA再生時は無効になります。

●DSD gain compensation:DSDのゲイン補正を行います。

●Channel balance:L/Rのバランスを調整します。

●Max volume:音量の最大値を設定します。

■ MSEB



右上のスライダーでMSEBをオンにします。

その左側のリセットボタンで、MSEBの設定をリセット出来ます。

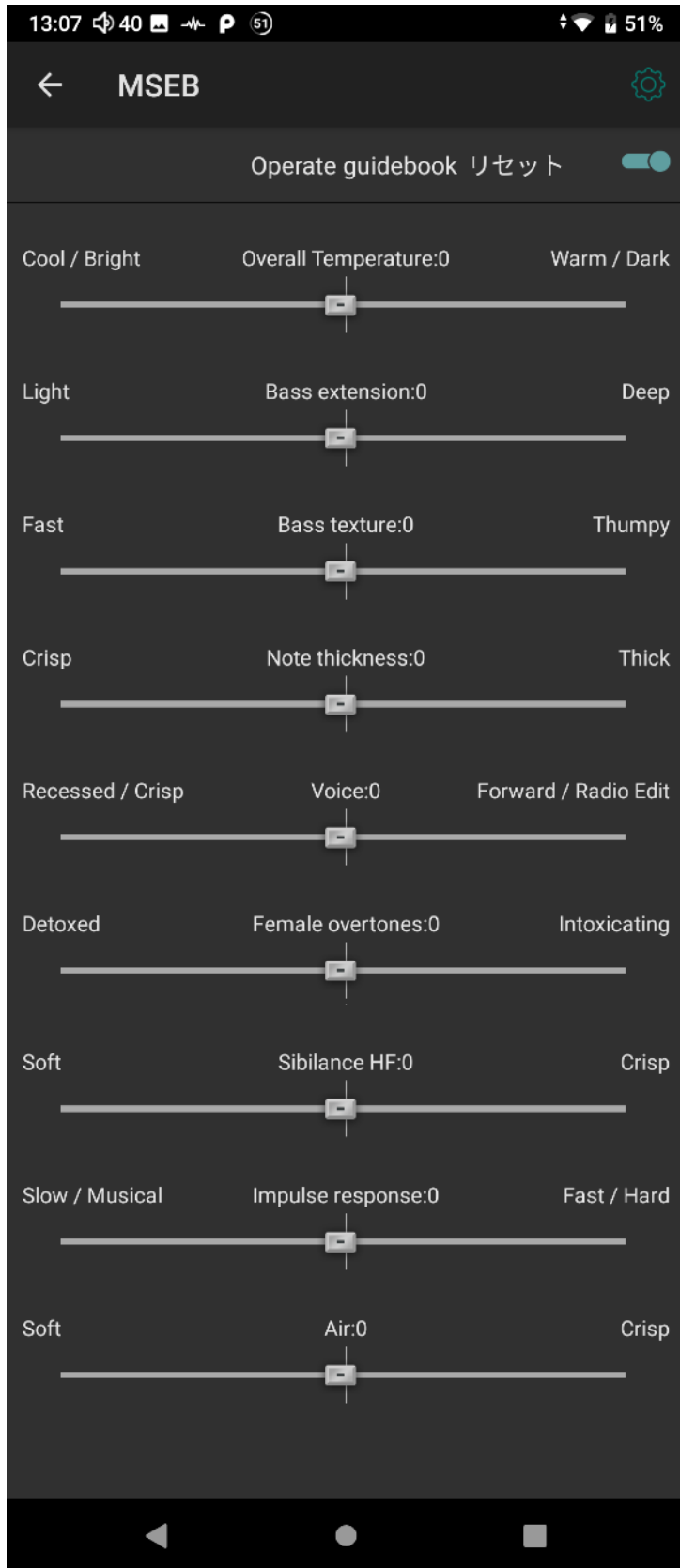
右上の設定ボタンを押すと、保存したMSEB設定の選択、スライダー範囲の設定を選択出来ます。

SAVEボタンで、MSEBの設定を保存出来ます。

LOADボタンで、保存したMSEBの設定を呼び出せます。

MSEBは、パラメトリックイコライザー (PEQ) に基づく複数のアルゴリズムと、好みに合わせて調整する音場調整を組み合わせたものです。

DSD,MQA出力は、MSEBが利用できません。



● Overall Temperature : 温度感
Cool/Bright→冷たい/明るい音
Warm/Dark→暖かい/暗い音

● Bass extension : 低音拡張
Light→軽快な音
Deep→低音の深さのある音

● Bass texture : 低音の質感の変化
Fast→低音減少
Thumpy→低音強調

● Note thickness : 音の厚みの変化
Crisp→パキっとした音
Thick→音の厚み強調

● Vocals : 声の音域の変化
Recessed/Crisp→減少
Forward/radio Edit→強調

● Female : 女性ボーカル音域の変化
Detox→減少
Vivid→強調

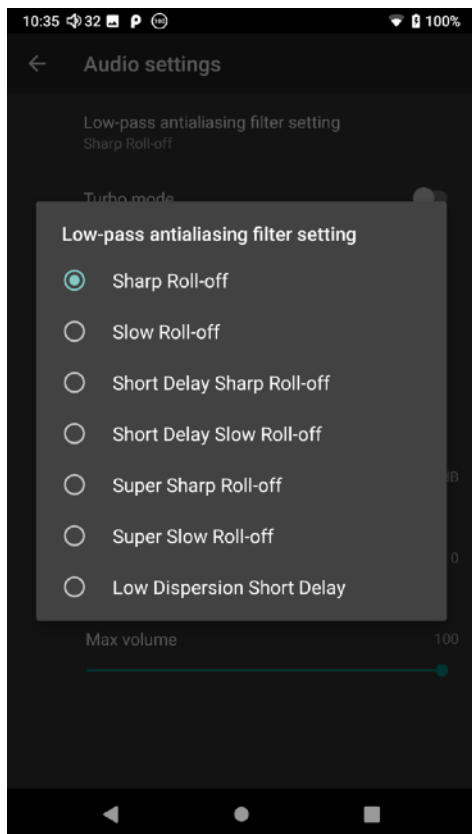
● Sibilance LF : 歯擦音低域の変化
Soft→減少
Crisp→強調

● Sibilance HF : 歯擦音高域の変化
Soft→減少
Crisp→強調

● Impulse response : インパルス応答
Slow/Musical→遅い
Fast/Hard→速い

● Air : 空気感
Soft→軟らかい音
Crisp→パキっとした音

Low-pass antialiasing filter setting



●Sharp Roll-off

柔らかなエッジでパワフルなサウンド。

●Slow Roll-off

自然なエッジで原音忠実。

●Short Delay Sharp Roll-off

シャープなエッジでパワフルな低音。

●Short Delay Slow Roll-off

シャープなエッジで原音忠実。

●Super Sharp Roll-off

シャープなエッジでパワフルなサウンド。

●Super Slow Roll-off

シャープなエッジで自然なサウンド。

●Low Dispersion Short Delay

自然なエッジで原音忠実。

■ ストレージ

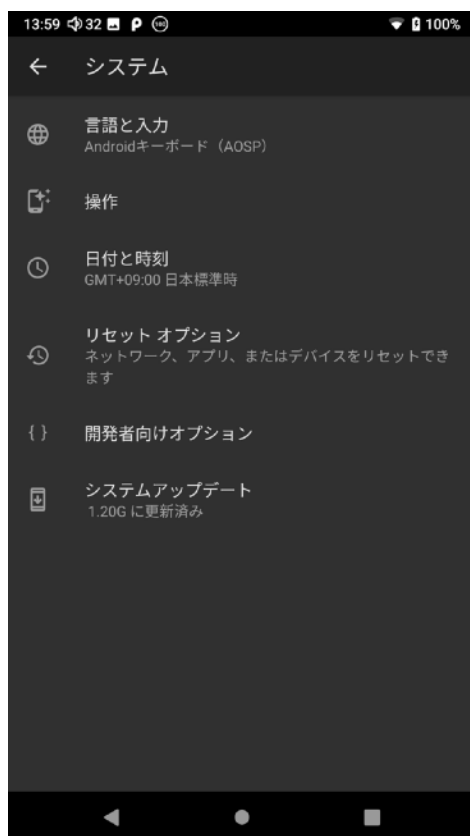
内臓ストレージ、外部ストレージをブラウズ出来ます。

ストレージの容量が少なくなると、左側に警告マークが出ます。



■ システム

システムの設定を行います。



- 言語と入力:OSで使用する言語を選択します。
- 操作:画面操作の設定をします。
- 日付と時刻:システムの日付と時刻を設定します。
- リセットオプション:DAPに不具合が起きた場合、この項目で本体を初期化する事で、不具合が解消される事があります。
- 開発者向けオプション:Androidの細かい設定をします。
- システムアップデート:本体のファームウェアアップデートを行います。



- システムアップデート:本体のファームウェアアップデートを行います。

操作前にWi-Fiに接続されている事を確認してください。

“チェックする”をタップで、ファームウェアアップデートがあるか確認します。アップデートがある場合は表示にしたがってアップデートしてください。

右上の：ボタンをタップでメニューが開きます。

“設定”でアップデートに関する項目を設定します。

“ローカルアップデート”は、通常は使用しません。

“キャッシュの削除”は、アップデートファイルが正常にダウンロード出来なかった場合などにキャッシュを削除して再度アップデートを行います。

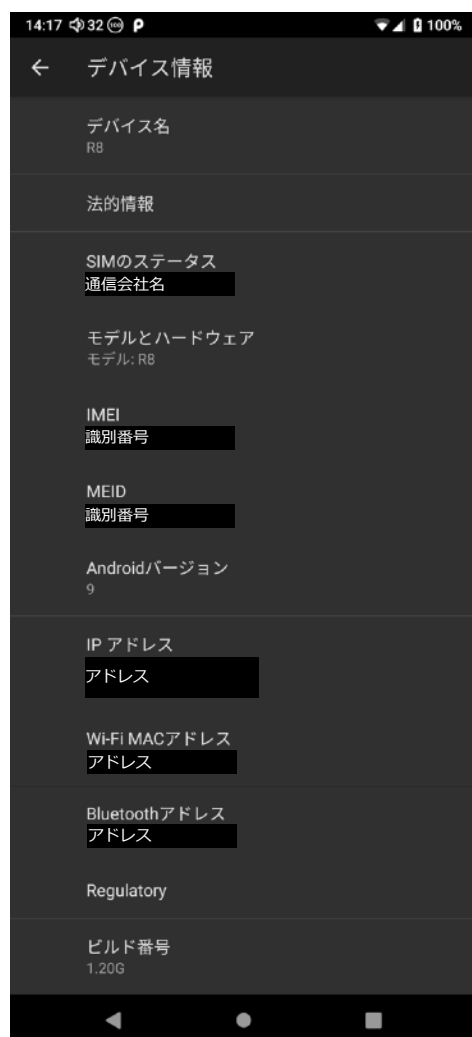
ファームウェアアップデート

■ ワイヤレスオンラインアップデート

1. WiFiをONにして、インターネットに接続します。
2. R8は、新しいファームウェアバージョンをオンラインで自動的に検出し、通知を介して更新するように求めます。
通知をタップして更新します。
3. システムアップデートメニューで、更新を手動で確認、ダウンロード、およびインストールすることもできます。
4. 古いファームウェアバージョンへのロールバックは、Androidデバイスではサポートされていないことに注意してください。

■ デバイス情報

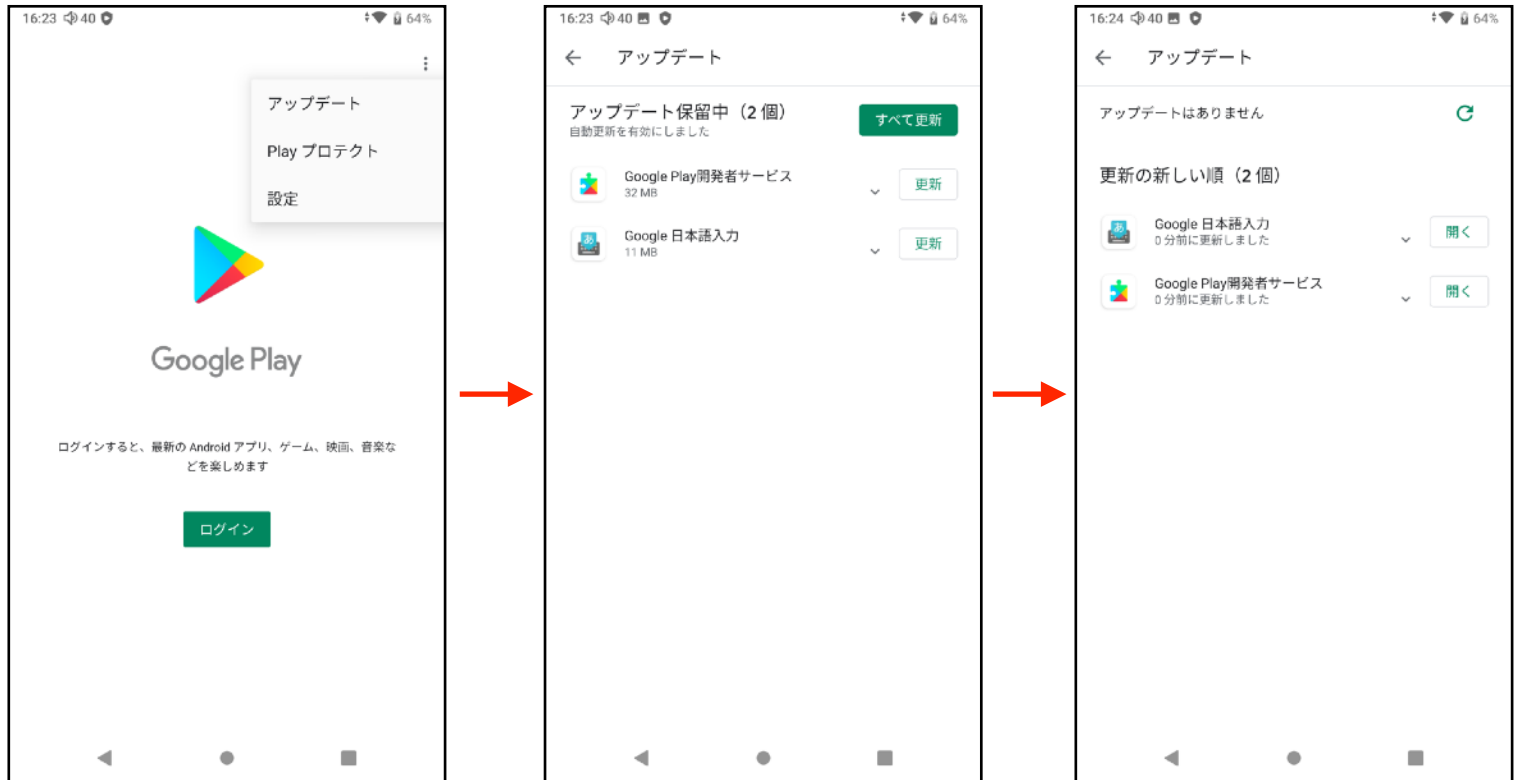
本体の情報を表示します。



- デバイス名: デバイスの名前を変更出来ます。
- 法的情報: ライセンスを表示します。
- SIMのステータス: 使用しているSIMの情報を表示します。
- モバイルとハードウェア: 本体の名前、バージョン、シリアル番号を表示します。
- IMEI: IMEIを表示します。
- MEID: MEIDを表示します。
- Androidバージョン: Androidのバージョン詳細を表示します。
- IPアドレス: 本体IPアドレスの表示
- Wi-Fi MACアドレス: MACアドレスの表示
- Bluetoothアドレス: Bluetoothアドレスの表示
- Regulatory: 技適表示
- ビルド番号: ビルド番号の表示。数回連続タップする事で、システムに開発者向けオプションを表示出来ます。

Google Playアプリアップデート

Wi-Fi接続→Google Playアプリ起動→右上の：をタップ→アップデート→すべて更新→更新完了



再生中に音源データを切り替えた時のポップノイズに関しまして

再生中の曲と異なるサンプリングレートに切り替えた時や、再生中の曲と異なるデータ形式に切り替えた時、インピーダンスが低いイヤホンをご使用の場合、ポップノイズが聞こえる場合がございますが、これは仕様となっております。

これは、内部クロックが切り替わる時、または、DACがデータを読み込み直した時の挙動です。本体の不具合ではございません。

使用中のアプリを起動したまま別のアプリを起動した時の注意点。

HiBy Musicなどのアプリで再生後、そのまま別のアプリで再生しようとする、音が出ない場合がございます。別のアプリを使用する場合は、今まで使用していたアプリを閉じてから別のアプリで再生してください。

アプリによっては、他のアプリが起動している場合、正しく動作しない場合がございます。

曲を停止すると小さくホワイトノイズが出て、数秒後に"プツ"というノイズが出る症状に関しまして

これは、再生後DACやAMP回路が一時的に停止する時のノイズで、仕様となります。本体の不具合ではございません。

Androidのロスレスデジタルオーディオ用の、ダイレクトトランスポートオーディオアーキテクチャ

1. Androidオーディオスタックに対するHiBy独自の変更、商標登録されたDTAにより、
[オーディオスタックに送信する前にオーディオをアクティブにリサンプリングしない
Androidアプリ]からのオーディオを、変更せずにオンボードのデュアルAK4497DAC
に直接送る事が出来ます。
2. R8のHiByMusicは、サポートされているすべてのPCMおよびDSDオーディオ形式を
デュアルDACに直接出力できます。
アクティブにリサンプリングしないアプリは、ロスレスPCM再生をサポートできま
す。
アクティブにリサンプリングするアプリは、他のAndroidデバイスと同様に
44.1 / 48kHzで出力されます。

不具合が起きた場合の対処方法

■ 強制再起動

R8の電源がオンになっているときに、電源オフ/リセットへの通常のアクセスを妨げる
ソフトウェアの誤動作がある場合は、電源ボタンとNEXTボタンを同時に15秒間押し続けると、
HiByロゴが表示されて強制的に本体再起動を実行できます。

■ 本体の初期化

強制再起動でも症状が改善しない場合は、本体をメニューのリセットオプションで初期化します。

■ 強制初期化

- 1、デバイスの電源がオンになっている状態で、電源ボタンを押して、[再起動]を選択します
- 2、再起動が開始したら、Prevボタン（戻るボタン）を押し続けます
- 3、リカバリモードのスクリーンセーバーに入ります。

これは、Androidが胸を開いた状態で仰向けになっていて、その下に「コマンドなし」という文字が表示
されています。

- 4、電源ボタンを押しながら、Prevボタン（戻るボタン）ボタンを同時に押します。

これで、Androidリカバリモードに入ります。

- 5、ボリュームホイールを使用してナビゲートし、
“Wipe data/factory reset”（データ削除/工場出荷時設定への初期化）
にカーソルを移動します。電源ボタンを使用して実行します。

この項目を実行すると、本体を強制初期化する事が出来ます。

注意事項

修理、分解、または水のある場所に製品を置かないでください。

長期間使用しない場合は、バッテリーの寿命を延ばすために定期的に充電する必要があります。

ヘッドホンを使用すると、外部環境の音が聞こえなくなります。

長時間の使用は避けてください。聴覚に深刻なダメージを及ぼす場合があります。

安全のため、危険な環境での使用は避けてください。

高電圧の充電器で充電すると、機械が損傷する可能性があります。

充電に適した充電器を使用してください。

人体の高周波被曝を低減する為に、この機器を人体から20cm以上離して使用してください。

製品サポート

HiBy製品に関するお問い合わせは、IIDAPIANOカスタマーサポートまでお願いします。

IIDAPIANOカスタマーサポートお問い合わせフォーム

<https://www.iidapiano.store/contact-us>

■ 製品保証についてのご案内

製造上の不備や万一の故障が発生した場合に適用されます。

ご購入時から1年間の製品保証で、取扱説明書に準じた取り扱いにもかかわらず故障が発生した場合は無料で交換もしくは修理対応致します。

■ 保証期間内であっても下記の事項については、保証対象外となり有償修理となりますのでご注意ください。

- ・納品後、輸送・移動等の取扱いが適切でなかったため生じた故障・損害の場合。
- ・取扱説明書に記載の注意事項に反する取扱によって生じた故障・損害の場合。
- ・故障、損害の原因が本製品以外の機器による場合。
- ・特異な調整方法、修理、改造をされた場合。
- ・火災、地震、水害等の天災及び虫害・塩害による故障・損害の場合。
- ・経年変化による塗装面及び金属面の自然な退色、変色。
- ・保証書にある製造年月日、お客様名等の記載の無い場合、字句を書き換えられた痕跡のある場合。
- ・保証書の無い場合、あるいはご提示頂けない場合。

■ 海外購入品及びクラウドファンディングサイトにてご購入のお客様へ

1. 海外で購入されたお客様

お使いのHiBy製品が国際版ソフトウェアである場合、有償にて国内正規品と同一のサポートをご提供致します。

製品保証期間内での保証対応においても弊社経由にてサポートを受ける際には事務手数料を頂戴致します。

2. 中国国内にて購入されたお客様

お使いのHiBy製品が中国版ソフトウェアである場合、中国版ソフトウェアは国際版ソフトウェアとは仕様が異なるためサポート致しかねます。

操作や動作に関するご質問にもお答え致しかねますので、予めご了承ください。

3. クラウドファンディングサイトで出資されたお客様

お客様自身で直接メーカーへ出資した内容や不具合内容等をご連絡頂き、メーカーからの回答をお待ち下さい。

サポートの内容により弊社が窓口となる場合がございます。

この場合には無償にてサポート対応致します。

■ 免責事項

このユーザーマニュアルは、機能の追加、または、情報の更新により、事前の予告なく変更される事があります。ご了承ください。

また、このユーザーマニュアルを無断で転載する事はご遠慮ください。

製造業者、代理店は、本製品の本来の使用目的以外の不適切な使用および操作に起因する怪我や事故を含む損害に対し、責任を負いません。

本製品を使用中にデータを消失した場合、お客様ご自身の責任となります。

弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。

〒411-0848

静岡県三島市緑町15-18 飯田ビル1F

有限会社 飯田ピアノ

info@iidapiano.store

Copyright (c) lidaPiano Co., Ltd. all rights reserved.

HiBy R8AL / R8SS 仕様

モデル	HiBy R8AL (WiFi Model) HiBy R8SS (WiFi+4G LTE Model)
オペレーティングシステム	Android 9.0
SoC	Snapdragon 660
CPUアーキテクチャ	Kryo260 Octa-core
CPU最大クロック周波数	2.2 GHz
GPU	Adreno 512
D/Aコンバーター	AKM AK4497 x 2
WiFi	2.4GHz, 5GHz
Bluetooth	Bluetooth 5.0
Bluetooth送信	UAT, UAT TWS, LDAC, aptX, aptX HD, AAC, SBC
Bluetooth受信	UAT, LDAC, AAC, SBC
USB	USB 3.1 Type-C
USB Digital out	最大 PCM 768kHz/32bit, DSD512, MQA (HiBy Musicアプリ使用時)
USB Coaxial out	最大 PCM 192kHz/24bit, DSD DoP DSD64
USB DAC in	Windows: 最大 PCM 768kHz / 32bit, DSD512 Mac: 最大 PCM 768kHz / 32bit, DSD512(Native)/DSD256(DoP)
ディスプレイサイズ	5.5 インチ
最大表示色	1600万色
ディスプレイ形式	IPS
ディスプレイ解像度	1920×1080
ピクセル密度	400ppi
タッチスクリーン	マルチタッチ
RAM	4GB
内蔵容量	64GB
拡張スロット	micro SD card 最大2TBまで(FAT32/exFAT/NTFSをサポート)
本体色	R8AL-Aluminium Alloy Black R8SS-Stainless Steel Black
サイズ(H×W×D)	143×81×20(mm)
本体重量	R8AL 420g / R8SS 520g
電源	5V=2A / 9V=2A
バッテリー	10000mAh/3.8V/38Wh
充電完了時間	約5時間(0%-100%) QC4.0対応
連続再生可能時間	Balance Phone Out : 約13時間 Single end Phone Out : 約14時間
	Balance Line Out : 約15時間 Single end Line Out : 約15時間

※連続再生可能時間は、再生環境によって異なります。

ファームウェアアップデート	OTA
表示文字サイズ	小 / デフォルト / 大 / 最大
サードパーティーアプリ	Google Playからダウンロード
ゲイン	LOW / MID / HIGH // Turbo mode
対応レート	32bit / 768kHz, DSD512
対応フォーマット	DSD,DXD,WAV,FLAC,ALAC,APE,WMA lossless,AIFF AAC,mp3,mp2,Ogg Vorbis
MQA	16倍展開
付属品	本体保護ケース×1 / 本体保護シート×1（予備） ※フロント、バックにあらかじめ保護シートが貼られています。 USB-C to USB-Aケーブル×1 USB-C to COAXIALケーブル×1 取扱説明書×1、保証書×1、メッセージカード×1 SIMイジェクトピン×1 / レトロスーツケース×1

USB Digital in

PCM	USB AUDIO CLASS 1.0 ドライバー無しで96kHzまで
	USB AUDIO CLASS 2.0 768kHzまで

*Windows7のPCと接続する場合、専用ドライバーが必要です。

4G LTE(R8SSのみ)

LTE対応バンド	FDD-LTE (Band 1/3/5/8/11/21/28) TD-LTE (Band 41)
----------	---

※本体に通話機能はございません。

4.4mm output

PO/LO共に、GNDが繋がっています。 PINアサインは、先端からL+/L-/R+/R-/GNDです。

オーディオパラメーター

	4.4mm PO@32Ω	4.4mm LO	3.5mm PO@32Ω	3.5mm LO
Output Impedance	0.8Ω	10K	0.4Ω	10K
Absolute Noise Floor	5.9 Vrms	4.1 Vrms	3.1 Vrms	2 Vrms
Output Power	1088mW	/	300mW	/
THD+N	0.00083%	0.00046%	0.00065%	0.0004%
Crosstalk	113dB	107dB	74dB	102dB
Noise	8.4uVrms	5.7uVrms	4.6uVrms	3.3uVrms
SNR	117dB	117dB	116dB	116.7dB
Dynamic Range	114dB	115dB	114dB	113dB

オーディオシステムブロックダイアグラム

